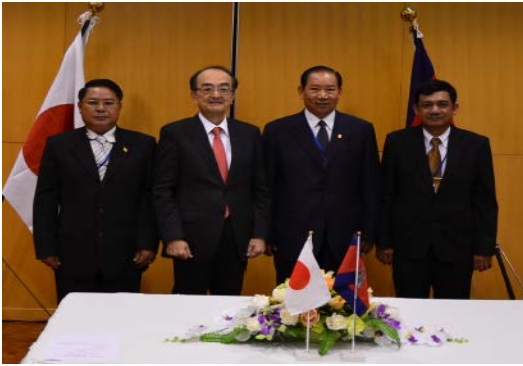


平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典



1月16日（木）、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次大使とケップ州鉱工業エネルギー局ヨウ・モニー局長が、エク・ソンチャン工業手工芸省長官、ケン・サーター・ケップ州知事出席のもと、贈与契約書に署名を行いました。

ケップ州鉱工業エネルギー局が実施する「ケップ州ケップ市及びダムナックチャンアー郡飲料水供給システム整備計画」は、ケップ州ケップ市及びダムナックチャンアー郡の取水池3箇所に、車載式膜ろ過装置で浄化した水を貯水し供給するシステムを整備することで、地域住民約8,500人、年間約760,000人の観光客が、安全な水を手に入れることが可能となります。



式典では、隈丸大使がスピーチを行い、飲料水供給システム整備では、適切な維持管理が必要であり、日本の専門家の指導を受けながら被供与団体と地域住民によって、長年にわたり適切に管理されることを望んでいると述べ、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる有効促進につながることを願うと結びました。続いて、被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、地域住民の手によって整備されたシステムを維持していくことを約束しました。

